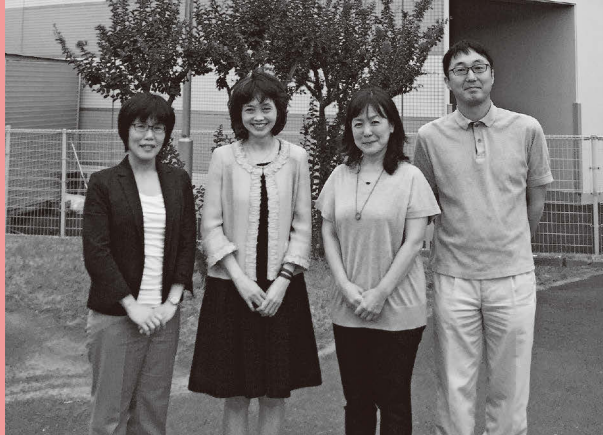


Data(2018年1月現在)

所在地：〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町1865

スタッフ：富田真佐子(教授)、鈴木浩子(准教授)、入江慎治(准教授)、村田加奈子(講師)

URL <http://www.showa-u.ac.jp/>



昭和大学保健医療学部看護学科

在宅看護学・公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、1928(昭和3)年、「真心をもって何事にも立ち向かう」という意味の「至誠一貫」を建学の精神に創設した昭和医学専門学校に始まります。現在は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科)を擁する本格的な医系総合大学です。

本学の教育の特色の1つとして、1年次には富士吉田キャンパスで全寮制教育を行っています。4学部の1年生約600名が4人部屋(他学部の学生と同部屋)で共同生活をし、チーム医療に必要なコミュニケーション能力を培います。

Education

どのような教育をしていますか？

チーム医療教育の科目は日本一充実しており、各学年に4学部横断の必修科目が配置されています。演習や実習を通して、学生は公衆衛生看護の視点としても重要な、他職種と連携する際の看護職の強み・役割を4年間かけて考察します。

保健師課程は1学年25名の定員で、3年次後期に希望者を対象に選抜を行います。さまざまな健康課題に関する保健活動について第一線で活躍する保健師による講義を取り入れ、公衆衛生看護の魅力を

伝えています。演習・実習は、地域診断に力を入れて行っています。

Research

どのような研究をしていますか？

公衆衛生看護学分野では、高齢者の虚弱・介護予防に関連する要因について、特定健康診査、介護保険に関するデータを用いた研究や、地域の子育て支援に関する研究を行っています。現在は、スマートフォンを用いたストレスコントロールに関する研究を計画中です。

また、大学附属病院の協力を得て、入院時から退院6か月後までの追跡調査、訪問看護における特定行為に関する研究など、地域に視点を置いた外来看護、在宅看護に関する研究も行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

1年次の全寮制教育を行っている富士吉田キャンパスがある富士吉田市と大学が提携を結んでおり、健診データの解析などを行っています。また、富士吉田市の医師会との共同研究も計画中です。

保健師課程の養成を行っている横浜キャンパスでは、地元自治体の後援の下、住民を対象として健康に関する公開講座を行っており、今後は学生の企画する健康教育プログラムを実施していく予定です。

ひとこと

保健師の仕事に熱意を持って取り組み、活躍してほしい。そんな気持ちで教員一同、授業や実習指導を行っています。卒業後も見据え、就職したらすぐに役立つような内容や、壁にぶつかった時のヒントになるキーワードをちりばめた教育となるよう工夫し、素敵な保健師になる学生を社会に送り出したいと思っています。

……鈴木

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp